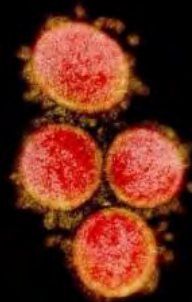


第49回アジア医療勉強会 ご案内

「新型コロナウイルス感染症の実態と今後の予想」



全世界で210カ国以上、感染者3500万人、死者103万人を超え、わが国においても感染者85,000人、死者1,600人を超えるパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症。その実態とワクチン開発や治療薬開発等の今後の見通しについて大きな関心が寄せられています。久しぶりに開催するMedPA勉強会にソーシャルディスタンスが得られる会場を確保して救急医療分野の第一人者でもある秋富先生をお招きすることが出来ました。是非ご参加頂ければ幸いです。

(西山 正徳)

日時：令和2年11月4日(水) 18時30分～

場所：AP日本橋 Cルーム

中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント6階

電話：03-3273-3109



講師 秋富 慎司 先生

元 防衛医科大学校 准教授

新型コロナ対策日本医師会長アドバイザー

現 医鳳会医療危機管理部 部長

日本医師会総合政策研究機構 客員研究員

2005年4月に起こったJR福知山線脱線事故の時に、現場の医療責任者の解散命令後にも関わらず、まだ生きている人が絶対にいるという信念のもと留まった。解散命令から1時間後に先頭車両に閉じ込められていたクラッシュ症候群になっている傷病者を発見し治療を開始、全員救命した。その後、東京大学医学部附属病院の医療責任者として中越沖地震派遣を経験、2008年には岩手宮城内陸地震の岩手県DMAT統括本部長として現場を指揮した。岩手県にて岩手沿岸北部地震およびチリ津波を経験し岩手県庁における危機管理体制の整備に尽力、2011年の東日本大震災では岩手県災害対策本部の医療班長として活躍し、救助活動から避難所支援、その後の復興までを支援した。

MedPA